

# 福島第一原子力発電所多核種除去設備A系 ドレン弁から堰内への滴下について

< 参 考 資 料 >  
2 0 1 7 年 8 月 1 7 日  
東京電力ホールディングス株式会社

## ■概要

- 8月16日、多核種除去設備A系統の鉄共沈処理プロセスのドレン弁保温材から滴下を確認。
- 滴下した水は多核種除去設備の堰内に留まっており、建屋外への漏えいはない。
- 16日の調査では滴下箇所の特定はできず、17日に再度調査を行ったところ、ドレン弁上流の配管からにじみを確認。滴下箇所に止水テープを巻いて補修し、滴下は停止。念のため、ビニール養生および受けを設置済み。
- 現在滴下した水の放射能濃度は分析中。

## ■時系列

### 【8月16日】

- 14:14 協力企業作業員が溜り水発見（約10cm×約50cm×深さ約1mm、推定約50cc）
- 16:20 拭取り完了
- 16:30 漏えい箇所調査のため保温材をはがし、循環ポンプを起動
- 17:20 漏えい箇所の特定には至らず、16日の調査は終了

### 【8月17日】

- 11:00頃 ドレン弁上流配管の保温材を外し再度調査したところ、にじみを確認

# 滴下発生箇所

